

第77回 簿記実務検定第 3 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金
貸 倒 引 当 金	仮 払 金	建 物	支 払 手 形
買 掛 金	当 座 借 越	所 得 税 預 り 金	商 品 券
仮 受 金	売 上	固 定 資 産 売 却 益	仕 入
給 料	発 送 費	貸 倒 損 失 (貸 倒 償 却)	旅 費
手 形 売 却 損	固 定 資 産 売 却 損		

- a. 商品券 ¥150,000 を発行し、代金は現金で受け取った。
- b. 和歌山商店から商品 ¥290,000 を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃 ¥6,000 は現金で支払った。
- c. 帳簿価額 ¥4,500,000 の建物を ¥4,620,000 で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
- d. 従業員の出張にあたり、旅費の概算額として ¥43,000 を現金で渡した。
- e. 大阪商店から商品代金として受け取っていた同店振り出しの約束手形 ¥300,000 を取引銀行で割り引き、割引料を差し引かれた手取金 ¥298,000 は当座預金とした。
- f. 得意先南北商店が倒産し、前期から繰り越された同店に対する売掛金 ¥70,000 が回収不能となったため、貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が ¥85,000 ある。
- g. 本月分の給料 ¥530,000 の支払いにあたり、所得税額 ¥47,000 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。
- h. 島根商店に対する買掛金 ¥210,000 を小切手を振り出して支払った。ただし、当座預金勘定の残高は ¥130,000 であり、限度額を ¥1,000,000 とする当座借越契約を結んでいる。

2

滋賀商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

1/月/4日 大津商店に借用証書によって、現金 ¥350,000 を貸し付けた。(伝票番号 No. 21)

〃 日 売買目的で彦根物産株式会社の株式/5株を/株につき ¥61,000 で買い入れ、代金は小切手#6を振り出して支払った。(伝票番号 No. 32)

3

広島商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の現金勘定と売掛金勘定に転記しなさい。

(2) 売掛金元帳とA品の商品有高帳に記入して締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、現金勘定と売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

iv 商品有高帳の記入は、先入先出法によること。

取 引

1/月 9日 山口商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手#8を振り出して支払った。

A 品 500個 @¥540 ¥270,000

1/5日 岡山商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥100,000 は同店振り出しの約束手形#3で受け取り、残額は掛けとした。

A 品 450個 @¥700 ¥315,000

27日 岡山商店から売掛金の一部を次の小切手#13で受け取った。

HA0013	小 切 手		岡山 3301 0149-033
支払地 岡山県岡山市東区西大寺上2-1-17			
株式会社 全商銀行岡山支店			
金 額		¥200,000	
上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください			
平成〇年1月27日		岡山県岡山市中区東山3-1-6	
振出地 岡山県岡山市		岡山商店	
		振出人 岡山太郎	

29日 鳥取商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

B 品 340個 @¥400 ¥136,000

30日 鳥取商店に売り渡した上記商品の一部に品違いがあったので、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

B 品 20個 @¥400 ¥ 8,000

4

次の各問いに答えなさい。

(1) 京都商店（個人企業）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 期間中の収益総額

b. 期末の資産総額

資 料

i 期首の資産および負債

現金 ￥650,000 当座預金 ￥1,550,000 商品 ￥300,000
 備品 700,000 買掛金 440,000 借入金 500,000

ii 期末の負債総額 ￥870,000

iii 期間中の費用総額 ￥3,895,000

iv 当期純利益 ￥305,000

(2) 兵庫商店における下記の買掛金勘定・仕入帳・支払手形記入帳によって、

a. /月/日に減少した買掛金は、次のうちどちらの商店に対するものか、番号を記入しなさい。

1. 姫路商店

2. 明石商店

b. 支払手形記入帳の（ア）の金額を求めなさい。

c. /月/日に西宮商店から仕入れた商品代金のうち現金で支払った金額を求めなさい。

買 掛 金

1/8 支払手形	140,000	1/1 前期繰越	385,000
		11 仕入	200,000

仕 入 帳

平成 〇年	摘要	内 訳	金 額
1 10	神戸商店 約手 A 品 100個 @￥1,000		100,000
11	西宮商店 現金・掛け B 品 160個 @￥1,500		240,000

支 払 手 形 記 入 帳

平成 〇年	摘要	金 額	手形 種類	手形 番号	受 取 人	振 出 人	振出日	満期日	支払場所	て ん 末	
										月	日
1 8	買掛金支払い	140,000	為手	2	姫路商店	明石商店	1 8	3 8	全商銀行兵庫支店		
10	仕 入 れ (ア)		約手	8	神戸商店	当 店	1 10	2 10	全商銀行兵庫支店		

5

奈良商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の決算整理事項は次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
- (2) 備品勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ￥730,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ￥1,200,000 残存価額は零(0) 耐用年数は8年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ￥3,000 は雑損とする。
- e. 引出金勘定の ￥26,000 は整理する。

第77回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [答案用紙]

1	借	方	貸	方
a				
b				
c				
d				
e				
f				
g				
h				

1 得点		2 得点		3 得点		4 得点		5 得点		総得点	
---------	--	---------	--	---------	--	---------	--	---------	--	-----	--

試験場校	受験番号

(2) (注意) 売掛金元帳と商品有高帳は締め切ること。

売 掛 金 元 帳

岡 山 商 店

1

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借または 貸	残 高
/ /	前月繰越	280,000		借	280,000

鳥 取 商 店

2

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借または 貸	残 高
/ /	前月繰越	240,000		借	240,000

商 品 有 高 帳

品 名 A 品

単位：個

(先入先出法)

平成 〇年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
/ /	前月繰越	150	520	78,000				150	520	78,000

4 (1)

a	¥	b	¥
---	---	---	---

(2)

a		b	¥	c	¥
---	--	---	---	---	---

2

得点

3

得点

4

得点

(1)

精 算 表

平成〇年/2月3/日

[illegible]

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備	品	6
1 / 1 前期繰越	750,000	

5
得点

第77回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [解 答]

1	借 方		貸 方	
a	現 金	150,000	商 品 券	150,000
b	仕 入	296,000	買 掛 金	290,000
			現 金	6,000
c	当 座 預 金	4,620,000	建 物	4,500,000
			固定資産売却益	120,000
d	仮 払 金	43,000	現 金	43,000
e	当 座 預 金	298,000	受 取 手 形	300,000
	手 形 売 却 損	2,000		
f	貸 倒 引 当 金	70,000	売 掛 金	70,000
g	給 料	530,000	所 得 税 預 り 金	47,000
			現 金	483,000
h	買 掛 金	210,000	当 座 預 金	130,000
			当 座 借 越	80,000

2	入 金 伝 票		出 金 伝 票	
	平成○年 月 日		平成○年 1 月 14 日	
	No. _____		No. 21	
	科目	入金先	科目	貸 付 金
	摘要	金 額	摘要	支 払 先
			借 用 証 書 に よ り 貸 し 付 け	大 津 商 店 殿
				金 額
				3 5 0 0 0 0
	合 計		合 計	3 5 0 0 0 0

振 替 伝 票		No. 32	
平成○年 1 月 14 日			
勘 定 科 目	借 方	勘 定 科 目	貸 方
有価証券(または売買目的有価証券)	9 1 5 0 0 0	当 座 預 金	9 1 5 0 0 0
合 計	9 1 5 0 0 0	合 計	9 1 5 0 0 0
摘要 売買目的で彦根物産株式会社の株式15株を買い入れ 小切手#6振り出し			

3	(1)	仕 訳 帳		1	
平成○年	摘要	元 丁	借 方	貸 方	
/ /	前期繰越高	✓	4,860,000	4,860,000	
9	(仕 入)		270,000		
	(当 座 預 金)			270,000	
15	諸 口 (売 上)			315,000	
	(受 取 手 形)		100,000		
	(売 掛 金)	4	215,000		
27	(現 金)	1	200,000		
	(売 掛 金)	4		200,000	
29	(売 掛 金)	4	136,000		
	(売 上)			136,000	
30	(売 上)		8,000		
	(売 掛 金)	4		8,000	

総 勘 定 元 帳		1	
現 金			
平成○年	摘要	元 丁	借 方
/ /	前期繰越	✓	340,000
27	売 掛 金	1	200,000

売 掛 金		4	
平成○年	摘要	元 丁	借 方
/ /	前期繰越	✓	520,000
15	売 上	1	215,000
29	売 上	4	136,000

(2) (注意) 売掛金元帳と商品有高帳は締め切ること。

売 掛 金 元 帳					
岡 山 商 店					
平成 ○年	摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
/ /	前月繰越	280,000		借	280,000
	15 売り上げ	215,000		〃	495,000
	27 回 収		200,000	〃	295,000
	31 次月繰越		295,000		
		495,000	495,000		

鳥 取 商 店					
平成 ○年	摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
/ /	前月繰越	240,000		借	240,000
	29 売り上げ	136,000		〃	376,000
	30 売上戻り		8,000	〃	368,000
	31 次月繰越		368,000		
		376,000	376,000		

商 品 有 高 帳									
品 名 A 品									
単位：個									
平成 ○年	摘 要	受 入		払 出		残 高			
		数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
/ /	前月繰越	150	520			150	520		
	9 山口商店	500	540			150	520		
						500	540		
	15 岡山商店			150	520				
				300	540	200	540		
	31 次月繰越			200	540				
		650		650					

4	(1)	a	¥	4,200,000	b	¥	3,435,000
---	-----	---	---	-----------	---	---	-----------

(2)	a	2	b	¥	100,000	c	¥	40,000
-----	---	---	---	---	---------	---	---	--------

5

(1)

精 算 表

平成○年/2月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現金	980,000						980,000	
当座預金	1,647,000						1,647,000	
売掛金	2,300,000						2,300,000	
貸倒引当金		6,000		40,000				46,000
繰越商品	690,000		730,000	690,000			730,000	
備品	750,000			150,000			600,000	
支払手形		950,000						950,000
買掛金		1,192,000						1,192,000
前受金		360,000						360,000
資本金		3,500,000	26,000					3,474,000
引出金	26,000			26,000				
売上		9,400,000				9,400,000		
受取手数料		32,000				32,000		
仕入	6,554,000		690,000	730,000	6,514,000			
給料	1,386,000				1,386,000			
支払家賃	816,000				816,000			
水道光熱費	247,000				247,000			
雑費	41,000				41,000			
現金過不足	3,000			3,000				
	15,440,000	15,440,000						
貸倒引当金繰入			40,000		40,000			
減価償却費			150,000		150,000			
雑損			3,000		3,000			
当期純利益					235,000			235,000
			1,639,000	1,639,000	9,432,000	9,432,000	6,257,000	6,257,000

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備		品	
1/1 前期繰越	750,000	12/31 減価償却費	150,000
		〃 次期繰越	600,000
	750,000		750,000

(・貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
(・勘定科目欄の当期純利益と損益計算書欄の235,000は赤字でもよい。)